

九州地方整備局 入札監視委員会第二部会 審議概要

開催日及び場所	令和4年11月30日(水) 東福第二ビル 101会議室	
委員	横田 守弘(大学教授)、作間 功(弁護士)、山城 賢(大学院教授) 順不同	
審議対象期間	令和4年4月1日～令和4年9月30日	
抽出案件	総件数 8件	(備考)
一般競争	3件	・審議対象期間内に契約した案件の契約方式毎の概要を報告 ・審議対象期間内における指名停止の運用状況等を報告 ・一者応札、高落札率、不調・不落、再度入札における一位不動、低入札、契約解除案件の発生状況、入札談合に関する情報等への対応状況
工事希望型競争	0件 対象期間中の案件無し	
通常指名競争	0件 対象期間中の案件無し	
随意契約	0件 対象期間中の案件無し	
建設コンサルタント業務等	2件	
役務・物品等	1件	
少額随契	2件	
	意見・質問	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

(別紙) 令和4年度 第2回入札監視委員会 (令和4年11月30日)

	報告・意見・質問	回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	<p>※総合評価方式における賃上げを実施する企業に対する加 点措置の概要について説明</p> <p>【 工 事 】 (政府調達に関する協定適用対象工事)</p> <p>①令和4年度北九州港(響灘東地区)岸壁(-10m)築造工事</p> <p>A.岸壁-10mとのことだが、(岸壁前面海側における)基 礎工部分の水深が3~4mとなっているのは何故か。</p> <p>【 工 事 】 (政府調達以外・港湾土木)</p> <p>②令和4年度宮崎港(東地区)防波堤(南)(改良)築造工事 (第2次)</p> <p>A.工事難易度の判断として、海事関係者の調整が頻繁では ないと判断した根拠は何か。</p> <p>【 工 事 】 (政府調達以外・港湾土木以外)</p> <p>③令和4年度熊本空港用地造成(排水改良)工事</p> <p>A. 施工場所が離れているのに、まとめて発注しているの は発注規模を大きくすることで参加者の増加を見込んでい るといふことか。</p> <p>B. 本件の作業が空港内で制限があることで、今回の参加 者が2社と少なかったのか。</p>	<p>A'.本件は岸壁本体となる鋼管矢板を打設後に陸側からの 埋立てを行うものであるが、矢板の変形、移動を防ぐこと を目的として、事前に海側に腹付石を置くことで、陸側か らの土圧を受け止めることとしている。よって施工時の水 深が一時的に3~4mとなっている。腹付石は最終的には撤 去を行うが、撤去は本件には含まれてない。</p> <p>A'. 宮崎港は入出港する船舶が定期運行で便数も固定され ており、調整が比較的容易であること、また不定期運航の 貨物船はその都度調整が発生するが、便数が僅少のため調 整回数が少ないことから、海事関係者との調整は頻繁に行 われるものではないと判断したものである。</p> <p>A'. そのとおり。</p> <p>B'. そのように考えている。本件は、夜間の空港内におい て作業の手間を要する排水工工事であることから、参加者 が少ないことが見込まれたため、より多くの企業の参加を 促す目的でチャレンジ型を採用したが、結果として2社の 参加であった。</p>

	報告・意見・質問	回答
	<p>【建設コンサルタント業務等】 (簡易公募型プロポーザル)</p> <p>④令和4年度苅田港(本港地区)航路整備に伴う航行安全対策検討業務</p> <p>A. 参加者が1社ということで、少なかった理由をどう分析しているのか。</p> <p>B. 従来から浚渫に関する安全対策は検討されていると思うが、本件の必要性は何か。</p> <p>C. 本件は学識経験者、海事関係者等の委員会開催を業務の主たる内容としているように見えるが、それなのに知識をもった技術者が必要なのか。</p> <p>【建設コンサルタント業務】 (一般競争)</p> <p>⑤令和4年度大分港(大在西地区)土質調査</p> <p>A. 既に防波堤があるのに改めて土質調査を行う理由は何か。従前の調査結果は活用できないのか。</p> <p>【物品及び役務】 (一般競争)</p> <p>⑥令和4年度港湾業務艇「すいせい」修理工事</p> <p>A. 民間企業のドックより事務所のドックを使った方が発注額が安くなるといったメリットがあるのか。</p>	<p>A'. 資料をダウンロードした企業にヒアリングを行ったところ、自社の得意とする業務ではないといった回答や、管理技術者の手持ち業務の状況により参加を見送ったという回答であった。</p> <p>B'. 本件の対象として、従来と比べて航路浚渫の施工方法が変わったこと、また、苅田港は航路幅200mの中で、他航路からの合流、船舶の行き合い調整等も生じるため、苅田港の特性に応じた安全対策の検討を行うものである。</p> <p>C.本件は委員会の開催にあたり、事前に船舶動向の情報収集と分析を行い、その結果を基に委員会の検討資料を作成することとなるため、知識を持った技術者が必要である。</p> <p>A'. 既設防波堤の周辺でも過去には土質調査を行っているが、今般、延伸する防波堤の設計にあたり、耐震性を考慮する必要があるため、従来とは異なる土質データの解析方法により、地盤特性を把握するための現地調査を行う必要があった。</p> <p>A'. 事務所のドックを使った方が安くなる。また、ドライドックを有しない企業もあり、ドライドック以外の斜路形式の施設では上架の際に船体へ影響が出る可能性もあるため、当局のドライドックを指定している。</p>

	報告・意見・質問	回答
	<p>【少額随意契約】 (随意契約)</p> <p>⑦ゴム印6個外68点 ⑧養生テープ5巻外10点</p> <p>A. 参考見積も本見積と同じ3社から徴収しているのか。</p> <p>B. 予定価格の算定にあたっては、総価の参考見積ではなく、それぞれの品目ごとの見積額を参考とした方が効果的ではないか？</p> <p>C. 事務用品の購入に関しては、毎回同じ3社に依頼しているのか。</p>	<p>A'. そのとおり。</p> <p>B'.あくまで1件の契約として予定価格を設定するものであるため、数社に対して1件あたりの総価の見積書を依頼し、その結果を参考としている。</p> <p>C. 定期購入である事務用品の購入に関しては、事務用品の取扱いがある企業に対して受注機会が均等になるよう配慮し、見積依頼をしている。従って今回の3社以外の社にも見積依頼をしている。</p>
	<p>【全体】</p> <p>「抽出事案」については、不適切な点や改善すべき点は認められず、「適正」に契約が執行されている。</p>	